

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

区中央部の状況

<H27報告とH26報告の比較>

- ・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年比2,000床以上減、割合でも16.8ポイント減
- ・一方、急性期機能は、病床数で2,000床以上増、割合でも16ポイント増

<H27報告の特徴>

- ・高度急性期機能を選択した病床の半数以上が特定機能病院一般病棟入院基本料を届け出
- ・回復期機能を選択した病院は、回復期リハビリテーション病棟入院料または、地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料を算定

<H27報告と将来推計>

- ・高度急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は6,810床
- ・将来(2025年)の患者数は高度急性期機能相当(3,000点以上)で2,498人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は3,331床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、3,000床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の26.6%を占めるのに対し、自己申告の値は2.9%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、区中央部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

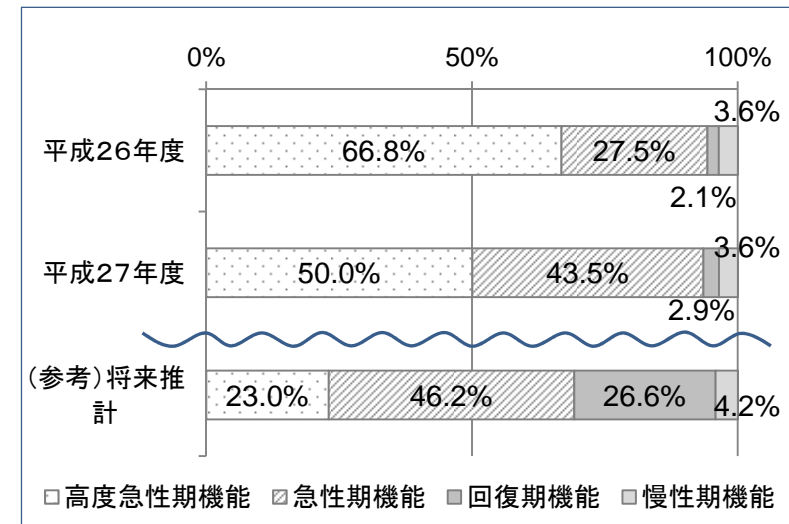
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	9,193床 66.8%	3,778床 27.5%	295床 2.1%	495床 3.6%	13,761床 100.0%
平成27年度 報告結果	6,810床 50.0%	5,917床 43.5%	397床 2.9%	485床 3.6%	13,609床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来推計	患者数	2,498人	5,212人	3,463人	559人	11,732人
(参考) 将来推計	病床数	3,331床	6,682床	3,848床	608床	14,469床
		23.0%	46.2%	26.6%	4.2%	100.0%
2013年 推計足元	病床数	3,003.3床	5,828.7床	3,352.4床	1,371.6床	13,556.0床

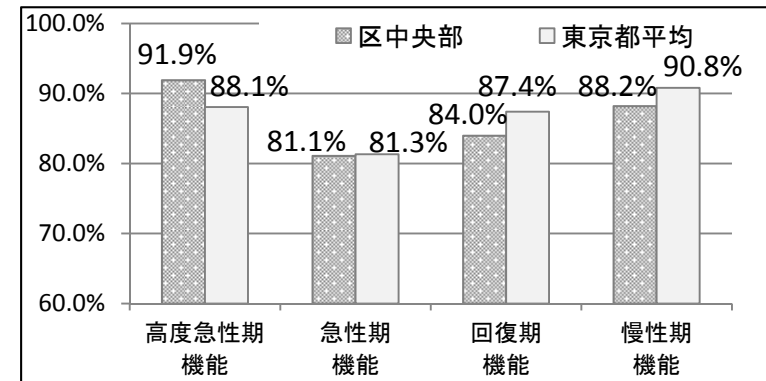


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1 特定機能病院 一般病棟 入院基本料	3,695	一般病棟7対1 入院基本料 2,839	回復期リハビリ テーション 病棟入院料 201	療養病棟 入院基本料 354
2 一般病棟7対1 入院基本料	2,154	特定機能病院 一般病棟 入院基本料 969	地域包括ケア 病棟入院料/ 入院医療管理料 181	介護療養病床 52
3 小児入院医療 管理料	246	一般病棟10対1 入院基本料 744	有床診療所 入院基本料 15	有床診療所 入院基本料 17
4 特定集中 治療室 管理料	231	専門病院 入院基本料 663		有床診療所 療養病床 入院基本料 15
5 救命救急 入院料	159	有床診療所 入院基本料 179		

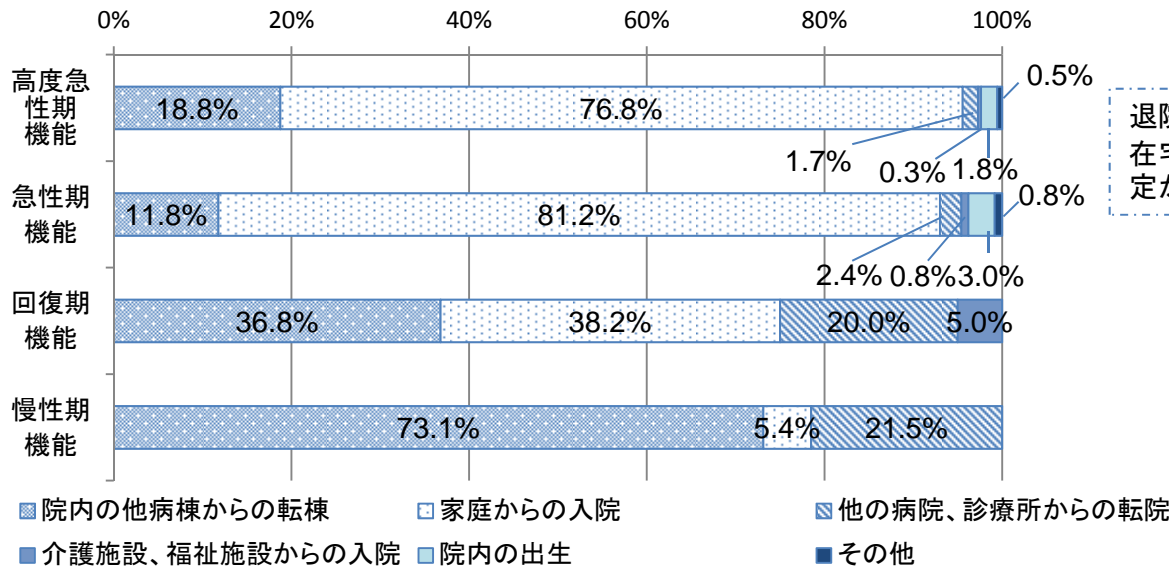
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



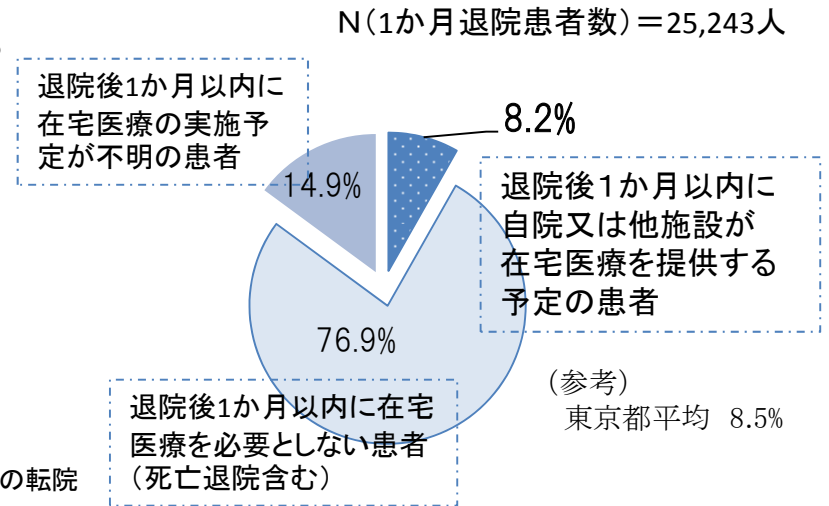
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数	10.1日	9.5日	23.5日	151.7日

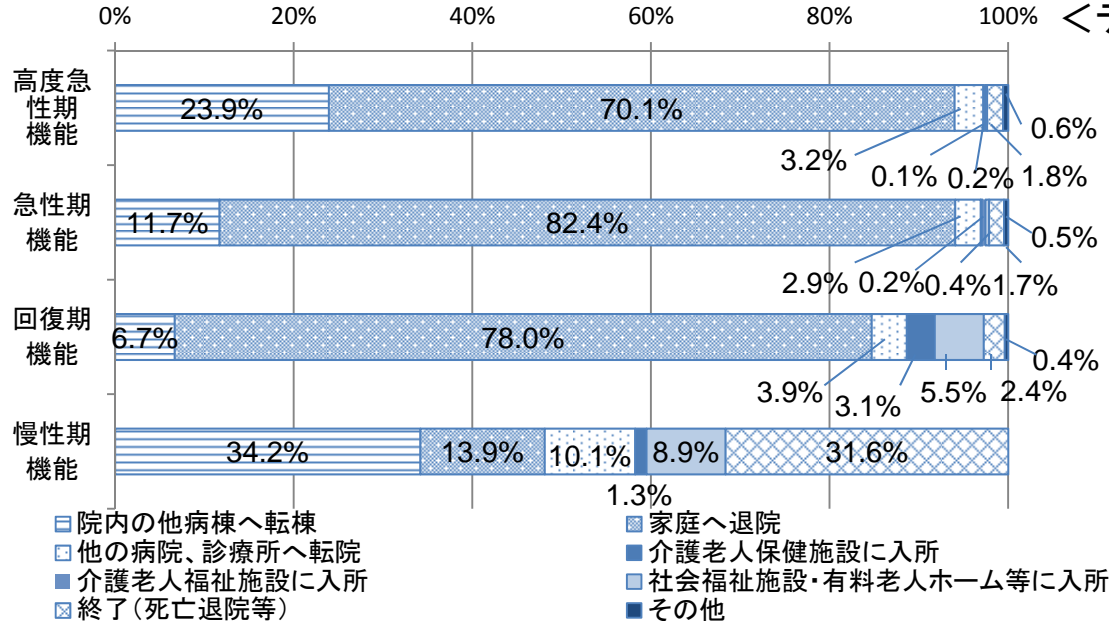
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所(病院)



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合(病院)



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所(病院)



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	6施設	17.6%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	22施設	64.7%
緊急時に対応する機能	8施設	23.5%
在宅医療の拠点としての機能	8施設	23.5%
終末期医療を担う機能	5施設	14.7%
いずれにも該当しない	7施設	20.6%

注 報告のあった34施設を集計。複数回答可。